

# 入学希望等調書記入上の注意

入学希望等調書は、専門職学位課程を志願する者の口述試験の際に参考とします。

## 1 志望専攻・コース等

志望専攻・コース等欄には、入学願書に記入したコース（領域・分野）を記入してください。  
第2志望で専門職学位課程を志願する者は、「第2志望」の用紙に記入してください。

## 2 志望動機及びこれまでの取り組みに関わること

(1) 前段には、志望動機及び教職や教育実践について、まず教育に関する問題関心を書いてください。その問題関心と関連させて、入学後に取り組みたい実践的課題や中心的に身に付けたい力について記入してください。

教育職員免許状や教職経験のない学部新卒者・社会人等の場合は、学部での学修・研究や社会人としての経験を教育実践にどう生かしてくかという観点から記入しても構いません。

(2) 後段には、これまでの教育実践や教育研究で取り組んできたことについて記入してください。発達支援教育実践研究コース（幼年教育領域）を志願する場合は、保育士としての実践に、発達支援教育実践研究コース（特別支援教育領域）を志願する場合は、障害児・者に関わる支援・指導等に読み替えても構いません。

なお、教育職員免許状や教職経験のない学部新卒者・社会人等の場合は、教育実践のかわりに教育実習や学部での学修・研究等を記入しても構いません。

3 「所有する（取得見込みの）教育職員免許状の種類及び取得年月日」欄は、幼一免、小一免、中一免（国語）等と記入してください。

## 4 研究・研修歴等

(1) 志望するコース（領域・分野）にかかわらず年月順に記入してください。

(2) 内容欄には、卒業研究等の題目名、研究論文・研究報告書の題目名、口頭発表のテーマ等を記入してください。（見込みを含む。）

(3) 研究論文・研究報告書については、単著・共著の区別も記入してください。

(4) 研修歴は、入学後に取り組みたい実践的課題に関連のあるものを中心に記入してください。

## 5 所属学会・研究会等

所属している学会・研究会等がある場合には、その名称を記入してください。

## 6 学歴

高等学校卒業以降の学歴について、入学、転学、卒業又は修了（見込みを含む）を記入してください。

**大学等については、学部、学科、専攻名まで**記入してください。

なお、**外国において学校教育を受けた者は、初等教育（小学校）からの学歴について、国名と学校名を「入学年月」と「卒業年月」に分けて記入してください。**

## 7 職歴

(1) 「職歴」欄は、常勤としての身分を有していたすべての職務及び非常勤として従事していた職で初等中等教育に係る職務について、次の①～②により年月順に記入してください。

① 現に勤務している職務については、令和7年3月31日まで勤務しているものとして在職期間を記入する。ただし、令和7年4月1日以前に退職する予定があるときは、退職予定日までとして記入する。

② 在職期間について1か月未満となる期間がある場合は、1か月に切り上げる。

(2) 「左のうち初等中等教育教員として勤務した在職年月数」欄には、「職歴」欄に記入した職のうち初等中等教育教員として勤務した在職年月数について、次の①～⑤により記入してください。(この在職年月数の合計は、「入学志願票」における「教職経験年月数」欄と合致するものです。)

- ① 令和7年3月31日現在で算出し、令和7年4月1日以前に退職する予定があるときは、退職予定日までで算出する。
- ② 非常勤として従事した期間については、勤務の形態（勤務時間、職務内容）が常勤の職員と同等である期間を含むことができる。
- ③ 休職期間（育児休業、国際派遣等の期間を含む）は算入しない。
- ④ 発達支援教育実践研究コース（幼年教育領域）においては、保育所（無認可のものを除く。）又は認定こども園（地方裁量型認定こども園を除く。）での保育経験の期間を含む。
- ⑤ 発達支援教育実践研究コース（特別支援教育領域）においては、施設・医療機関・教育訓練機関等において障害児・者に関わる支援・指導等に職員（勤務形態が常勤の職員と同等である非常勤の職を含む。）として従事した期間を含む。